

題材 「ほんとうかな？のばし棒は使わない日本語の言葉」 3時間中の第3時

(1) 学習のねらい

書き言葉と話し言葉では、のばし棒の音が変わる事を学習した児童は話し言葉と書き言葉における、お→うに変化する言葉と変化しない言葉があることを身の回りの言葉の例を通して気づくことができる。

(2) 本時の学習材

お→うに変化しない言葉を知ろう

○本時の学取材は、導入で前回の振り返りをしたあと、本題であるお→うに変化しない言葉があることに触れていく

○かきごおり おおさま とおまわり 等話し言葉と書き言葉でのばし棒の表記が変わらないことは、日本語学からみたら説明はつくが、それをどうやって児童に教えるかが問題である。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 前時間に学習カードで間違いが多かったお→うに変化する言葉をあげてICTを利用して正誤を問う	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習問題 お→うに変化しない言葉はあるのかな？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまえにやったやつじゃん ・ かんたん ・ 	10'	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「前回、りゅうへい先生の授業で解いた問題をおぼえているかな？この言葉の正しい書き方はこれであっているかな？」 (意図) 前回、納得していなかった児童にも復習しつつ慣れさせる。ICTを利用することで導入をスムーズに進める ★ 教材 テレビ画面に、お題に沿った写真をはる
	2 全部の言葉がお→うに変化するだろうか、問いかける	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぜんぶへんかするよ ・ まえにやったもん ・ ・ ○ 	30'	
展開	お→うに変化するのはすべての言葉に共通しているか確認してみよう			<ul style="list-style-type: none"> ○
	2 3 ワークシートを配り問題を解く	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○ こんなのかんたんじゃん <p>まえやったやつとおなじでお→うでしょ</p> <p>わかんない</p>	10'	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習材 お→うに変化しない言葉を知ろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・
	4. 黒板で答えを確認する	えー、なんでお→うに変化しないの？ じゃあまえにやったやつもそうだってこと？		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価 【評価(対象)】 変化する言葉としない言葉を確認することができるシート </div>
5. 変化しない言葉の問題は、生徒を指名する	いみがわからない。。		<ul style="list-style-type: none"> ○ ・ 	

<p>終末</p>	<p>6. 変化する言葉としない言葉が存在することをもう一度説明する。</p>	<p>なんでへんかすることばとしないことばがあるの？</p> <p>じゃあこれはそういうことなんだね</p> <p>へんかするのとしないのがあるんだね</p> <p>にほんごって難しいね</p>	<p>○「どうだったかな？おおかみのようにおでも変化しない言葉があることに気づくことができたかな？」</p> <p>○「もし、他にも変化しない言葉を見つける事が出来たら先生におしえてね」</p>
-----------	---	---	---